



やるきほんきき さきき 木佐木

前神奈川県議会議員
日本共産党

2023.1.25

木佐木ただまさ news
発行：党横浜北東地区委員会
横浜市鶴見区潮田 3-147-6
TEL：045-511-1021

Profile

- ▶1984年山口県出身
- ▶鶴見区馬場在住
- ▶神奈川大学法学部卒
- ▶よこはま健康友の会会長
- ▶横浜東民商顧問

投票は何を基準に選ぶ？

政党を重く見る傾向が強まる

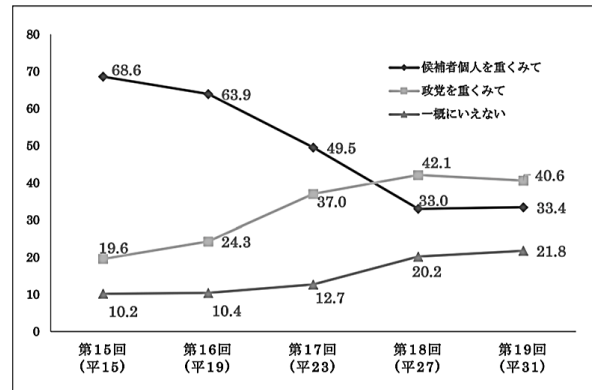
皆さんは、投票をする際に何を基準に投票先を選ぶでしょうか？

明るい選挙推進協会の第19回統一地方選挙全国意識調査によると、都道府県議選挙においては、2015年以降、候補者個人よりも政党を重く見るようになった方が多い結果となりました。予定候補本人としては、歯がゆい思いもありますが、市町村合併や議員定数の削減などにより議員が一層身近な存在でなくなっていけば当然の帰結かもしれないと感じています。特に、報道されることの少ない地方議会では、一人一人がどのような議会や地域での活動をしているのかわかりにくいのも要因だと思います。SNSの時代だからこそ活動を可視化していくことにも力を入れていかねばと心新たにしました。

知事案に全部賛成の現職3人

今回の鶴見区の県議会選挙は、今のところ現職の自民、公明、立憲と共産（木佐木）、維新の5人が立候補する状況だと目されています。2019年から現在まで知事提案の710議案について、自民、公明、立憲の会派は仲良くすべて賛成です。ちなみに共産党は612議案、約86%に賛成といった状況です。知事と議会は二代表制といわれ、互いに監視をしい緊張感をもって対峙するものとされていますが、4年間ゼーゼーんぶ賛成で本当にチェックできているのでしょうか。鶴見の県議会3議席のうち1つくらいは、ダメなことにダメと言えるまっとうな議席が必要だと思います。大阪でカジノに熱中している維新政治では変えられません。見えにくい議会の状況も発信して、皆さんが安心して願いを託してもらえるような活動を頑張りたいと思います！

図16 政党か候補者か(都道府県議選挙)



*「わからない」は除いた。

*第17回以前は面接調査、第18回以降は郵送調査による。

画像：明るい選挙 19年地方選意識調査より

ただまさヒストリー

国際法を学ぶゼミでカンボジアへ

神奈川大学に無事進学することのできた木佐木青年ですが、世界情勢は9.11のテロ以降まさにイラク戦争が開戦してしまう緊張感が漂う時期だったと思います。大学の2年生からゼミが始まり国際法を学ぶゼミにはいり、国連や国際法の歴史や可能性を知ることは戦争反対の様々な行動の大切な柱になりました。私の入ったこのゼミには、アフリカのエイズ孤児を支援するNPOを立ち上げた先輩や国際協力機構(JICA)に参加する同級生もいてとても刺激がありました。ゼミ旅行では、カンボジアに行き地雷原を見たり、枯葉剤の被害にあったベトさんとドクさんにもお会いできました。

ただ、旅行中一番の衝撃は、カンボジアのホテルでいくら探しても部屋の鍵がなかったことでした。1週間分の荷物を抱えてどうしようかと頭を抱えながら部屋に戻ると、凍りついた佇まいで鍵穴に刺さりっけなしの鍵がありました。学校にランドセルを忘れた木佐木少年は、鍵を刺っけなしのまま旅行に出かける青年に。。。三つ子の魂百まで。。。